

自己評価日時：令和2年12月16日(水)

事業所名 放課後等デイサービス
ぬくもり山荘

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			適切です。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			運営基準に適した人員配置をしています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			事業所内には、エレベーター、車いすの方も利用できるトイレが設置されており、バリアフリー化の配慮をしています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			全職員に支援会議には参加してもらい、目標設定の周知を行っています。利用終了後には日々の支援記録をその日の各担当が記載し、支援の振り返りとモニタリングを行っています。個人の連絡帳の裏表紙には目標を記載した用紙を貼り、目標が周知徹底できるようにしています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			毎年、一月に保護者アンケート調査を実施し、その中の貴重な意見を基にして、業務改善に努めています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			当事業所のホームページ内に、事業者向け自己評価結果表、保護者等からの事業所評価の集計結果表を公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者外部評価は現在行っておりません。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			研修の機会は確保していたが、今年はコロナウイルス感染拡大防止の為、年3回の社内研修しかしていません。また、外部の研修は中止になった為、参加できませんでした。実施されたら、感染予防に務めながら積極的に参加したいと思っています。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			計画書作成時には必ず保護者との面談を行っていますが、今年度はコロナウイルス感染予防の為、電話での面談となりました。毎回、保護者・利用者のニーズや課題を客観的に分析した上で、計画書の作成に努めています。今後もより良い計画を立てられるように努めていきたいと思います。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			標準化されたアセスメントツールを作成し、活用しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			毎週行う週間会議には職員が参加し、翌週の活動プログラム内容を決めています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			活動プログラムについて話し合う時には、活動一覧表を使用し、前週と活動内容を比較し、プログラムが固定化されないように工夫しています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			今年度はコロナウイルス感染拡大防止の為、行動範囲が限られ、従来の長期休みに行っていた活動ができませんでしたが、できる事でスケジュールを立案し、工夫した支援を心掛けました。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子どものニーズと課題に合わせて、意図的にルールのある遊びを取り入れたり、勉強を取り入れたり、手指課題を行ったり、その子の能力に応じた、個別・集団活動を組み合わせた放課後等デイサービス計画書を作成しています。

⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		週間会議で事前に決めた活動内容や役割等、更に良い支援に繋がるように、毎朝、職員間で打ち合わせをしています。
---	---	---	--	---

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑩⑥	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		支援終了後に時間を決めて打ち合わせはしていませんが、必要事項があるときは、随時職員間で申し送りを行っています。また、毎朝の打ち合わせの時に前日の振り返りをしています。
	⑩⑦	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		○		利用者個人個人の計画書に沿った日々の支援記録を毎日記録しており、支援の検証、改善につなげています。
	⑩⑧	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか		○		モニタリングは半年ごとに行っていますが、新規の利用者の計画書に関しては、その都度、見直しの必要性を判断し、行っています。
	⑩⑨	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか		○		ガイドラインについての勉強会を年一回開催し、日々の支援の振り返りと、支援の質の向上を目指しています。また、今年度は令和3年1月に予定しています。
	⑩⑩	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		担当者会議には当該利用者の担当が参加しています。
	⑩⑪	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○		学校との情報共有の他に、保護者からの情報をもとに情報を共有し、連絡調整しています。
	⑩⑫	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		受け入れ体制を整えていますが、現在、医療的ケアを必要とするの子の利用はありません。
	⑩⑬	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		該当する利用者がいる場合には、保護者に情報共有できるか確認し、可能であれば情報共有会に参加したい事を伝えています。
	⑩⑭	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		利用者が、障害福祉サービス事業所等へ移行する時は、情報共有等の為、積極的に移行会議に参加したい事を改めて保護者に説明しています。
	⑩⑮	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		今年度はコロナウイルス感染拡大防止の為、支援センターの研修は実施されませんでした。定期的なモニタリングは電話で行い、助言を頂きました。
	⑩⑯	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○		今年度はコロナウイルス感染拡大防止の為、交流していません。
	⑩⑰	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○		今年度はコロナウイルス感染拡大防止の為、参加していません。
	⑩⑱	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		○		送迎時は家庭での様子を聞いたり、事業所での様子を伝え、気軽に話ができるように配慮しています。また、専用携帯電話にて、保護者から気軽に話ができるようにしています。
	⑩⑲	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		今年度はコロナウイルス感染拡大防止の為、例年行っている茶話会や、勉強会を中止としました。しかし、希望がある時には専用携帯電話にて、随時相談や、家族支援を行っています。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時には丁寧な説明を心掛けており、分からない事がないか、保護者に聞きながら説明をしています。保護者からも気軽に質問を頂いています。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		今年度はコロナウイルス感染拡大防止の為、電話での面談となりました。面談時や連絡帳で子育ての悩みなどに関する相談を受け、その都度必要な助言と支援をしています。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	保護者会はありませんが、保護者同士の関わりができるように、ぬくもり山荘まつり、茶話会、親子レクリエーションを企画しています。今年度はコロナウイルス感染拡大防止の為、開催できませんでした。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情の窓口を用意しており、苦情が出た際は会社全体で対応策などを話し合い、苦情処理書類を作成し体制を整備しています。また、保護者に迅速に説明、謝罪を行い適切に対応しています。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月「ぬくもり山荘だより」を発行し、活動時の写真や、連絡事項などを記載して、子どもや保護者に発信しています。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○		個人情報には十分注意をしています。
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		子どもと保護者の気持ちに寄り添うように努め、必要な配慮をしています。また、その日のスケジュールが分かりやすいようにホワイトボードに写真で掲示しています。個別に必要な方にはコミュニケーションツールを使用し、意思疎通できるように配慮しています。
非常時等の対応	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	年1回の「ぬくもり山荘祭り」を開催する時には、地域住民を招待して、皆さんにお越し頂いています。今年度はコロナウイルス感染拡大防止の為、開催できませんでした。
	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		各種マニュアルは職員が閲覧しやすいようにスタッフルームに用意されています。保護者には直接関係のある内容を連絡帳に添付して周知しています。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		今年度はコロナウイルス感染拡大防止の為、回数を減らして実施しました。2回行っています。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		例年は年1回の研修と、年3回の虐待事例検討会を設けていますが、今年度はコロナウイルス感染拡大防止の為、年1回の研修と虐待事例検討会を1回のみ実施しました。その際は全職員が参加し、適切な対応をしています。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		放課後等デイサービス計画書に、車いす乗車時に安全の為にベルトを着用する事と、自傷・他傷行為がみられた時にやむを得ず身体拘束する事について保護者に説明し、了承を得たうえで計画書に記載しています。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	保護者からの聞き取りを十分に行い、食物アレルギーの子どもに対応しています。現在、医師からの指示書が必要な子はいません。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		例年は年3～4回全職員でヒヤリハット事例検討会を設けていますが、今年度はコロナウイルス感染拡大防止の為、年2回行い、事業所内で共有しました。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。